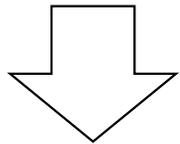


動物福祉に関する評価方法について

一次評価(飼育担当者)

A 動物種ごとの評価

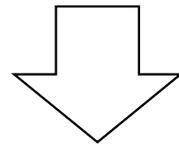
- 考え方・取組の整理・評価
- 記録・資料



担当動物の飼育における
担当者自身の取組みや
考え方を整理し、評価

手法「マンダラート」

- ・課題「動物福祉」
- ・基本思考(8つ)
必須(5つ)
環境、衛生、採食、行動、健康
任意(3つ)
人との関係、繁殖、社会、など



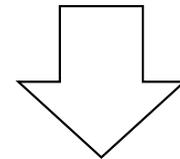
- 飼育マニュアル
- 飼育日誌
- 生涯記録
- 参考文献
- 外部マニュアル
- etc

二次評価(動物福祉評価委員会)

A 動物種ごとの評価

- 一次評価結果
- 各種記録・資料

B 全体(共通設備・体制等)の評価



評価項目(別紙)に沿って、
評価・取りまとめ

※評価項目の評価内容については、
第3者にわかりやすいように整理する。

外部評価(動物福祉部会)

- ① 評価の取りまとめの評価
二次評価結果で取りまとめた内容を評価
- ② 現地評価(視察・聞き取りなど)
園内を5つのエリアに分け
年度ごとに1つのエリアを視察し
所見をいただく
 - ① 子ども・カンガルー・猛禽
 - ② ゾウ、サル山、アジアゾーン
 - ③ アフリカゾーン
 - ④ 熱帯鳥類館、爬虫類両生類館、総合水鳥舎
 - ⑤ モンキー、チンパ、エゾシカ・オオカミ、ヒグマ、ホッキョク